

## 平成29年度新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
情報	社会と情報	普通科 2学年	2単位
教科書	[主たる教材]		
	最新社会と情報 (実教出版)		
副教材等	[副教材]		
	新課程最新社会と情報学習ノート (実教出版) ケーススタディ情報モラル (第一学習社)		

## 1 科目の目標

授業を通じて、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力、態度を養う。

## 2 科目の内容

- (1) 情報を学ぶ意義と情報リテラシー
- (2) 情報を扱う様々な技術
- (3) プレゼンテーション

## 3 授業計画

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月	現代社会の特徴 情報の重要性 なぜ「情報を学ぶのか」	12	現代社会の情報機器、システムについて学び、「情報」という科目を学ぶ意味を理解する。  インターネットの仕組みを知り、インターネットの利用方法を学ぶ。
5月	ネットワークとインターネット		
5月	デジタル化とマルチメディア	14	ワープロソフトで文書を作成しながら、コンピュータの操作方法を学ぶ。  表計算ソフトの使い方を学ぶ。
6月	文書の作成、数値データの整理		
7月	画像処理、電子メールの利用、特徴 ○1学期期末考査		
7月	情報の検索、様々な問題と解決方法	16	画像ソフトの種類と使い方を学ぶ。  メールソフトの使い方を学びながら、電子メールを利用する上での留意点を理解する。
9月	問題の整理と解決		
10月	情報伝達の様々な手段、効果的な情報伝達		
10月	プレゼンテーションの設計	15	インターネットを利用して、情報を検索する方法を学ぶ。いろいろな手段を用いて、情報を利用する方法、情報化の技術が社会に貢献していることを学ぶ。  情報化社会が進むにつれて、人間にどのような弊害をもたらすのかを理解する。インターネットを利用する上で注意すべきことを学ぶ。
11月	プレゼンテーションの実施		
12月	ウェブページの作成 ○2学期期末考査		
12月	情報社会の光と影	13	情報モラルに関する調査研究をグループで行い、その内容をプレゼンテーションソフトを活用し発表を行う。
	健康への影響		
3月	モラルとネチケット 情報を利用した職業		

計 70 時間 (55分授業)

## 4 学習評価

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
評価の観点・規準	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえ、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	以上の観点を踏まえ、①授業中の学習態度、実習への取り組み ②レポート、実習の課題作品 ③定期考査（知識・理解）などから総合的に評価します。			

## 5 担当教員

情報 科教諭

## 6 担当者からのメッセージ

現代は情報社会と言われます。身近にもスマートフォンなど様々な情報機器があふれています。正しい使い方を身に付け、情報機器を活かした豊かな社会を形成できるように、しっかり学んでいきましょう。